

## SR11000 システム更新のお知らせ (続報)

システム運用係

本誌前号「スーパーコンピューティングニュース Vol.13, No.1 (2011.1)」でもお知らせしたとおり、現在 SR11000 システムの更新に向けての手続きを行っております。

現在ご利用頂いております、SR11000 システムの今後のサービススケジュール、後継機に関する情報は、詳細が決まり次第、本センター Web Page、本誌等でもお知らせいたします。

### ○ SR11000 システムのサービス予定

現在サービスを行っている SR11000 システムは、

**2011 年 10 月 14 日 (金) 17:00 サービス終了 (予定)**

をもってサービスを終了いたします (予定。場合によっては変更することもあります)。

なお、2011 年 3 月には、SR11000 システム導入から 6 年が経過することから、安定的にサービスを提供するためにも、一部システム構成の見直し・ファイルシステムの再構築を行うこととなりました。このため、下記の期間は一部システム構成変更のための縮退運転を行います。期間中は、ジョブの待ち時間が通常より長くなる場合がありますのでご了承ください。また、ファイルシステムの再構築作業は、年度末処理日に実施します。詳細につきましては、本誌別記事「SR11000 ファイルシステムの変更について」をご覧ください。

**2011 年 3 月 22 日 (火) 9:00 ~ 3 月 28 日 (月) 9:00 縮退運転**

**2011 年 3 月 30 日 (水) 9:00 ~ 4 月 4 日 (月) 9:30 年度末、ファイルシステム再構築作業**

利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

### ○ 「大規模超並列スーパーコンピューターシステム」の概要

前号でもお知らせいたしましたが、次期システムの調達にあたっては、既存利用者の継続性、多様な利用分野、次世代スーパーコンピューター利用に向けた開発環境の整備と人材育成などの利用目的を実現するために、2 式のスーパーコンピューターシステムの導入を行うこととなりました。

今回は、2011 年 2 月 16 日 (水) に官報公示されました「大規模超並列スーパーコンピューター」の仕様概要についてお知らせいたします。

#### 「大規模超並列スーパーコンピューター」仕様の概要

ノード単体性能	
理論演算性能	200 GFLOPS 以上
主記憶容量	32 GByte 以上
システム全体性能	
総理論演算性能	1 PFLOPS 以上
総主記憶容量	150 TByte 以上
ローカルファイルシステム	1 PByte 以上
共有ファイルシステム	1 PByte 以上
プログラミング言語	Fortran77/90、C、C++
通信ライブラリ	OpenMP、MPI 2.0 通信ライブラリ
科学技術計算用ライブラリ	BLAS、Lapack、ScaLAPACK、FFTW、SuperLU
導入時期 (予定)	2012 年 1 月 17 日以降